



発行所

公益財団法人
創新教育芸術振興基金
年1回発行
〒085-0018 釧路市黒金町7の3
(創新ビル内)
電話 0154(22)1111

中居氏、河崎氏、大道氏が受賞 晴れやかに精進誓う

創新郷土芸術賞

公益財団法人創新教育芸術振興基金（星匠理事長は、令和2年度に恒例の顕彰・贈呈事業などを行いました。文化講演会については新型コロナウイルス感染症防止の観点からやむなく中止としました。このうち、「郷土芸術賞」の贈呈式は11月23日に新型コロナウイルス感染症防止に配慮してANAクラウンプラザホテル釧路で行いました。今年度（第49回）の受賞者は、中居瀧晟氏（日本画）、河崎秋子氏（小説）、大道和世氏（音楽）の3氏で、メダルと副賞30万円が贈られました。



賞状を受け取る中居さんと河崎さん、大道さん（左から）

贈呈式は感染症対策として出席者を制限するなど簡略化して行われた。星理事長が「今後もさら

に釧路、根室の芸術、文化の向上のためにご活躍いただきたい」とあいさつ。選考委員長で同賞第1回受賞者の羽生輝さんが経過報告し、来賓の蝦名大也釧路市長が祝辞を述べた。

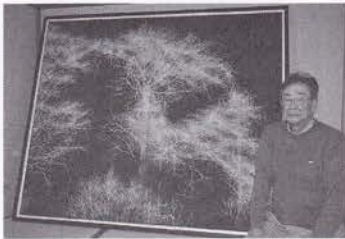
受賞者の謝辞では、中居さんが「春の日展入選を目指している中で賞をいただき、後押しをしていただいたと感じている。賞を背中に背負って頑張りたい」と決意表明。河崎さんが「釧路には文学関係で豊かな素地がある」と改め感じている。将来文学でこの賞を受賞される方とお会いできる日が楽しみ」と話しました。

公益財団法人
創新教育芸術振興基金
のあらまし
当基金は、「創新奨学基金」（昭和51年設立）と「創新郷土芸術振興基金」（同47年設立）の

両基金を統合して昭和57年11月1日に設立した財団法人創新教育芸術振興基金が前身。平成22年12月1日、公益財団法人に移行しました。基本財産1億円と運用財産、篤志寄付により毎年「創新奨学賞」「創新教育活動賞」「創新郷土芸術賞」「創新教育図書」贈呈事業のほか、講演会などの文化事業を開催しています。

受賞者の横顔

◆日本画 中居瀧晟氏
芦別市生まれ、白糠町育ち。20代後半まで岐阜で日本画を描いていま



岩絵具を巧みに使い、道東の自然風景を表現する中居さん

大道さんは「受賞は支えてくださった方々のおかげ。安心してお聞きいただける状況になった際には恩返しのため演奏をさせていただければ」と述べました。

今年度の受賞者で1972年から132人12団体となります。

◆小説 河崎秋子氏
別海町生まれ。別海中

が、その後サラリーマンに転職。会社を定年退職し釧路市阿寒町に移住。そこで偶然見たけあらしの光景に感動しました。もう何年も絵は描いていなかったと話しましたが、再び絵と向き合う気持ち湧き上がり、以来、道東の自然風景をモチーフに、幻想的な日本画を描き続けています。岩絵具を巧みに使いこなしした独特の表現は、日本画に新しい風を吹き込んだといわれるほど独創性に富んでいます。道展では3回連続入選し、釧根で初の新人賞、佳作賞連続受賞。釧美展では4回連続入選し、2019年度釧路市長賞を受賞。代表作は「吹雪く漁村」「序曲愛の舞」「序曲生命」。

◆小説 河崎秋子氏
別海町生まれ。別海中
央小、同中から帯広大谷高校、北海学園大学に進学。実家で酪農業のかた



「歌の魅力伝えていきたい」と語る大道さん

◆音楽 大道和世氏
5歳でピアノを習い始め、中学時代に音楽の道に進むことを決意しました。札幌の北星学園女子高校音楽科に進み、国立音楽大学音楽科を卒業後、ドイツのライプチヒに留学しドイツ歌曲を学びました。声楽家として釧路札幌を中心に活動し、リサイタルは東京、札幌、釧路で開催。CDリリースなどソロ活動も精力的に行っています。毎日音楽コンクール高校生部の部金賞を皮切りに、JILA音楽コンクール声楽部門第2位（1位なし）、PIAジャパン音楽コンクールリート部門3位入賞などを受賞しています。釧路湖陵高校合唱部への指導も行っている。

阿寒湖中など3校に活動賞

奨学賞21人の活躍に期待

第45回創新教育活動賞と第63回創新奨学賞の贈呈式が釧路セントuryキャッスルホテルで開かれました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため例年より規模を縮小する中、釧路市立阿寒湖中学校と根室市立落石小学校、羅臼町立羅臼小学校の3校に活動賞、釧路・根室管内の高校生21人に奨学賞を贈呈しました。



星理事長から奨学賞の盾を受け取る受賞者

(霧多布高校3年)がそれぞれ謝辞を述べました。今年度の受賞で、教育活動賞は138校、奨学受賞者は766人となりました。

活動賞受賞校の実績 阿寒湖中、落石小、羅臼小

贈呈式では、受賞校の校長や受賞生のほか、名塚昭副市長、井川智釧路教育局次長が出席、選考委員長で道教育大の玉井康之副学長の報告のあと、星理事長が受賞者に賞状や盾を手渡しました。

◆釧路市立阿寒湖中学校 (林政孝校長、生徒19人) 阿寒湖の自然やアイヌ文化など地域の特徴を取り入れた多くの教育活動を展開しています。2021年4月には釧路市立として初となる義務教育学校としての開校を控え、統合予定の阿寒湖小学校との連携による教育の質向上を目指しています。地域資源を活用した教育として、アイヌ民族の楽

創新教育二賞

阿寒湖小学校的児童と触れ合う阿寒湖中学校の生徒器ムックリの演奏体験や木彫り教室、マリモ観察会などを毎年実施。地域住民も学校の活動への関心が高く、積極的に協力して授業を支えています。生徒は地域の行事にも参加し、阿寒岳神社の例大祭ではみこしの担ぎ手、まもり祭りでは踊り手を担当。まちの文化の一端を担っています。統合に向けた小中連携では、中学校の教員が小学校の英語や音楽、体育などの授業を担当する乗り入れ授業を行っています。



阿寒湖小学校的児童と触れ合う阿寒湖中学校の生徒

◆根室市立落石小学校 (新井真人校長、児童38人) 創立70年。2015年には近隣の昆布盛小学校と統合しました。風光明媚い(媚び)な校区の落石、浜松、昆布盛地区は、伝

統的に和太鼓が盛んで、同小もその伝統を受け継いでいます。教育目標の①心身の健康な子②真理を追究する子③実行力のある子④情操の豊かな子を実践する「自立貢献」「協働的に取り組む」のため、27年前から地域や人、伝統文化を「よく活動として和太鼓「きりの子太鼓」に取り組んでいます。昨年度は6月の「落石味まつり」



学校と地域が密着した教育活動を行う落石小の「きりの子太鼓」

での発表(表現)があるため、4月から地域の指導者を講師に招き、太鼓リーダーを中心に協働的に取り組む学習(追究)を行いました。味まつり以降は3～5年生が加わり、興味・関心(つかむ)を高めるため、6年生が自分たちが学んだことをグループ対話を取り入れながら伝承。学習の成果は10月の学芸会、6年生を送る会へとつながっています。

◆羅臼町立羅臼小学校 (野呂幸生校長、児童131人) 町内の幼稚園から高校までの15年間で取り組むふるさと学習「知床学」に、率先して全学年で実践しています。総合的な学習の時間を中心に知床の人、物、自然からふるさとと羅臼を捉える学習を展開。講師となるのは、漁協や知床財団の職員などで

す。地域住民が子供の学びを支え、本物を伝えようとする姿は真剣な学びとなつています。ヒゲマ、サケ、羅臼コンブを題材に学び、19年からは5年生が羅臼コンブをテーマに「羅臼こんぶ図鑑」を作製。6年生はこれまでの学びを生かして羅臼の良さをまとめたリーフレットを作製しました。英語、中国語版も作り、観光客に配布しました。



漁協職員から羅臼で捕れたサケについての説明を受ける児童

創新奨学賞受賞者

- 小田 侑季 (釧路湖陵高校)
- 笠井 唯花 (釧路江南高校)
- 小野 良亮 (釧路工業高校)
- 清水 優心 (釧路商業高校)
- 矢野 萌々 (釧路北陽高校)
- 加井理央七 (釧路明輝高校)
- 佐野 桜子 (釧路東高校)

- 武田 礼 (阿寒高校)
- 外湯菜々子 (武修館高校)
- 岩田 理希 (釧路高専)
- 山室 凜 (厚岸翔洋高校)
- 澤山 陸斗 (霧多布高校)
- 野上 彩 (標茶高校)
- 塚本 雄河 (弟子屈高校)
- 内田 華 (白糖高校)
- 福澤沙矢香 (根室高校)
- 上田千夏都 (中標津高校)
- 近藤 卓也 (中標津農業高校)
- 澤田 恵花 (別海高校)
- 多田 春菜 (標津高校)
- 川口 颯太 (羅臼高校)

敬称略

釧根10小中校に

各20万円相当を寄贈

当基金は、釧路、根室地域で読書活動に積極的
に取り組み小、中学校
を対象に「釧新教育図
書」の贈呈事業を行っ
ています。国語能力と
豊かな人間性を育む読
書活動に役立ててもら
うことが目的です。38
回目の今期も10校を選
考し、各校が選んだそ
れぞれ20万円相当の図
書を贈呈しました。

贈呈には星匠理事長ら
役員が学校に向き、図
書を手渡しました。今期
の各贈呈校の活動を紹
介します。(順不同)

▽釧路市立興津小学校
(柳田裕之校長、児童152人)
読書活動の活性化を目
的に、新刊を図書室前の
廊下に図書委員の推薦文



活用し、国語教科書と結
び付ける取り組みも実施
しています。

▽釧路市立美原小学校
(佐々木豊校長、児童281人)

とともに並べたり、本を
多く借りた児童にしおり
をプレゼントするなどの
取り組みを行っています。
北海道関連の本や道内各
地の観光パンフレットを
並べた北海道コーナーを
設置するなど、地域に興
味を持ってもらうための
工夫も凝らしています。

▽釧路市立釧路小学校
(大澤昭仁校長、児童282人)

児童が本や物語のおも
しろさに気付き、本を読
む習慣を身に付けられる
よう朝読書や読書週間を
設け、年間を通して指導
しています。児童会図書
委員会による「かみしばい
集会」など、児童が自主
的に本に親しむ活動も推
進し、釧路市中央図書館
と連携した「ブックフェ
スティバル」を行ったり、
「読書サポートセット」を



釧路市立美原小学校

▽釧路市立武佐小学校
(近藤伸哉校長、児童100人)
本が好きになり、読書

に親しみを持って本を自
ら選び、自分の人生を豊
かにしていける児童の育
成を目指して図書活動に
取り組んでいます。昨年
はブックフェスティバル
を体育館で行い、数千冊
の本の中から自分が興味、
関心を持った本を選んで
読む体験を実践しました。
読書貯金という銀行の通
帳のようなカードを作成
し、その中に自分が読ん
だページ数を記録してい
ます。

▽釧路市立山花小中学校
(伊藤賢次校長、児童・生徒23人)

図書室がない同校では、
種類や用途を考えた上で
本を5カ所に分散。新規
で購入した図書は、全員
が目にするように玄関前
の棚に配置。調べ学習向
けの本はパソコンが置か
れた情報学習室に並べて
おり、インターネットと
併用した学習ができます。
新しく「くつろぎコー
ナー」を設け、子供たち
は朝読書に加え各読書
コーナーを積極的に活用
し、異なる学年同士の交
流の場にもなっています。

▽鶴居村立下幌呂小学校
(土居慎也校長、児童27人)

日常的に朝読書を行う



鶴居村立下幌呂小学校

とともに、放送委員会が
昼の学校放送で読み聞か
せを実施しています。小
規模校ならではの取り組
みとして、児童一人一人
に読書通帳を配布。自分
の年間読書量が一目で分
かり、読書意欲を高めて
いきます。さらに個人の読
書量を増やすための「読
書ランキング」、全校で何
冊読むかの「全校チャレ
ンジ」を企画して読書を
推進。

▽厚岸町立太田小学校
(小川一法校長、児童19人)
隣接する学校林で間伐
したカラマツ材で作った
本棚「学校林文庫」を設
置、森林や環境教育に関
する図書資料の充実に努
めています。朝読書の取

り組みも定着し、週に1
度、町内のサークル「小
さな絵本箱」のボラン
ティアによる絵本読み聞
かせも行われ、また文化
委員を中心に高学年が低
学年に読み聞かせる取り
組みも始まりました。今
年度からは新たな試みで
「ブックトーク」も開催。

▽根室市立歯舞学園
(西田威嗣校長、
児童・生徒144人)

漁村に立地する地域性
から水産学習を中心とし
た「はほまい学」で地域
愛を育んでいます。図書
活動は、多目的ホール内
に設けられた図書ホール
と、市図書館バスの積極
的な活用で本に親しんで
いきます。読書の習慣化の
ため、図書委員が薦め
た本や新刊本のポスター作
成などで呼び掛けも行っ
ています。

▽別海町立上西春別小学校
(近藤 康校長、児童144人)

授業では、図書室や教
室横のワークスペースに
置かれている本、移動図
書館バスの本なども活用
しています。教室内でも
学級担任が私物の本を棚
に並べて気軽に本を手
取る環境づくりも行って

います。図書委員会の活
動も積極的で、校内アン
ケートで人気の本を調べ
て「お薦め本」としてポ
ップで紹介したり、15分間
の中休みを利用し読み聞
かせを行っています。

▽標津町立標津小学校
(齋藤征志校長、児童162人)

学校でも国語科を授業
研究の中核と定め、授業
を中心に教育活動全体で
「読むこと」についての資
質、能力の育成を図るほ
か、全学級が「朝読書」
の時間を設け、読書機会
の拡充に努めています。
毎週1回、ボランティア
「よむよむ☆ママさん隊」
が来校し、全学年を対象
に読み聞かせを行って
います。



標津町立標津小学校

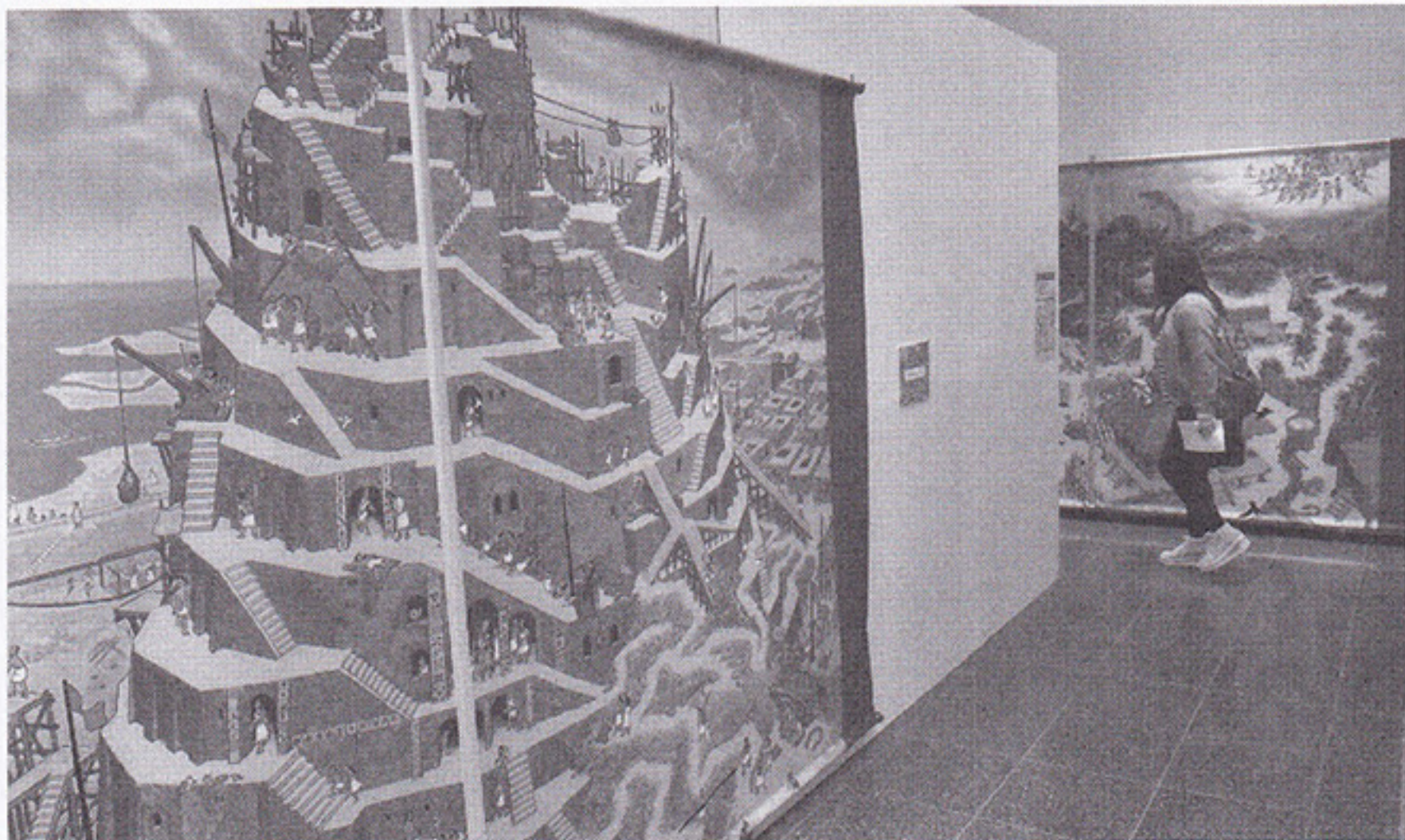
当基金は文化事業として、文化講演会と美術展などの展示を行っています。本年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、毎年著名人を講師に行う文化講演会はやむなく中止としましたが、「めいろ！めいろ！！迷路!!!」 「秋山あやみずる展」 「美術の中の水」の展示会を行いました。このうち、「迷路」展と「美術の中の水」展を紹介します。

「めいろ！めいろ！！迷路!!!」展

香川元太郎からの挑戦状

絵の中に隠されたクイズや迷路が楽しめる展覧会「めいろ！めいろ！！迷路!!!」

路!!! 香川元太郎からの挑戦状が、当基金と釧路市立美術館と釧路新聞



巨大なかかし絵を使ったクイズなどが楽しめた作品展

社の主催で4月18日から7月26日まで釧路市立美術館で開かれました。新型コロナウイルスの影響で関連イベントは中止となりましたが、サメやカニ、タコなど海の生き物が隠れている「グレートバラリーフ」などの迷路絵本などが展示され、子供から大人まで幅広い年代が訪れて作品を堪能していました。

コレクション展 美術の中の『水』



水をテーマとした釧路市立美術館のコレクション展

釧路市立美術館のコレクション展「美術の中の『水』」が同美術館などが主催し、当基金が共催して今年1月5日から2月14日まで、同美術館で開かれ、多くの人々が訪れました。

湿原や海、川に囲まれた釧路に暮らす人にとって身近な水をテーマに据え、地元の作家16人の油彩画など32点を紹介しました。

会場では絵の中に描かれている水の種類によって作品を「海・岩場・浜」「霧・雪・氷」「港・川」「湖面」の四つに分けて展示。題材は摩周湖や釧路川河畔など地元の風景から、鹿児島県の桜島やパリのセーヌ川河畔まで多岐にわたり、訪れた人々が熱心に見入っていました。

- ◇公益財団法人釧新教育芸術振興基金拠出者「芳名（令和元年12月7日）
令和3年3月4日現在」
- 敬称略
- ▽吉田和代▽明るい社会づくり釧路会▽裏千家淡交会釧路支部▽渡辺礼子▽ゾントクラブ（会長・柏木智恵子）▽エコネットトクしろ▽釧路風林カントリークラブ▽株式会社環境テクノス▽北海道分県推進協議会▽まもり木陽会（会長・正岡一男）▽栗林定正▽貴志理恵子▽阿寒共立土建（代表取締役・阿部信之）▽国際ソロプチミスト釧路アミティ▽国際ソロプチミスト
 - 路▽釧路ゾントクラブ▽山加リス食品（代表取締役社長・松田茂生）▽村井建設▽コーチャンフォーグループ株式会社リライアブル（代表取締役社長・佐藤暁哉）▽医療法人社団悟啓会中沢医院（理事長・貝嶋政治）▽シャルームイトウ（代表取締役・伊藤光生）▽藤田印刷株式会社（代表取締役・藤田卓也）▽林田恒夫▽佐藤俊晴▽阿寒共立土建（代表取締役・阿部信之）▽丸ア共立産業（代表取締役・阿部信之）▽釧路風林カントリークラブ▽株式会社環境テクノス

- 公益財団法人釧新教育芸術振興基金役員一覧
- 理事長 星 匠
常務理事 堀口 義彦
理事 中島 太郎
理事 齋藤 孝次

- 理事 遠藤 修一
理事 佐藤 俊晴
理事 正岡 一男
理事 片山 新平
監事 折原 義之
監事 田中 義之

- 評議員 足立あつこ
評議員 佐藤 悦夫
評議員 工藤 靖雄
評議員 藤田 卓也
評議員 阿部 信之
評議員 両角 幹彦

- 評議員 村井 順一
評議員 平間 育子
評議員 宮田 昌利
評議員 阿部 由香
評議員 久本 俊彦
(敬称略、順不同)